

ご主人様、あけまして
おめでとーうございます。

隣の部屋で重桜の正月料理を
ご用意しております。
どうぞお召し上がりくださいませ。



料理より先にベルファストを
味わいたい、ですか？

ふふっ、承知いたしました♡



皆が近くにありますので、
完全なおもてなしは
難しいですが…

代わりにこちらを
好きにお使いください♡

ぷるん♡

スルッ…



ご主人様の熱が伝わってきて、
私も体が火照ってしまいます...♡

ん♡

フワッ♡



あんっ、そんな、激しいです…っ♡
皆に音が聞こえてしまいます…♡♡

はちゅん♡

はちゅん

あん♡

あ、♡

ぬち♡

ぬち♡

はちゅん♡



もう射精そうですか……？
はい、全て私の胸の中に
射精してください……♡♡

はちゅん♡

はちゅん

あん♡

あ♡

ぬちゅ

ぬちゅ

はちゅん♡



んっ…♡すごい量…♡
谷間からどんどん精子が
溢れてきます…♡♡

はぁっ

はぁっ

ゴポっ♡

ゴポっ

ドクッ♡

ドクッ♡



たっぷり精子でマーキング
されてしまいました！♡♡

こんなに濃いご主人様の匂い、
綺麗にしても取れないかも
しれませんね！♡♡

はーっ♡

はーっ♡

トッ♡

♡



ふふっ、続きをぞこ所望ですか？♡
大変嬉しいですが、今は身なりを整えて
皆のところに戻りましょう。



♡ その代わりに全ての催事が
終わりましたら、夜が明けるまで
♡ お相手いたしますので…♡♡























